２０○○年○月○○日

○○大学

○○　○○　殿

一般社団法人日本産業技術教育学会

編集委員長　白石正人

日本産業技術教育学会誌投稿論文の査読について（依頼）

拝啓　時下，ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

　平素より学会活動にご協力をいただき，誠にありがとうございます。

　さて，日本産業技術教育学会常任編集委員会では，メールに添付しました論文の査読を貴殿にご依頼することに決定しましたので，なにとぞよろしくお願い申し上げます。

　査読を承諾いただける際には，「**査読承諾書**」に必要事項をご記入の上，そのファイルを添付したメールを**1週間程度以内**にご返信くださいますようお願いいたします。

　なお，査読の承諾・未承諾に関わらず必ずご返信をいただきますようお願い申し上げます。

　査読は以下の手順となります。**査読結果は，必ず期限（1ヶ月）内**にご返送ください。

1. 査読については，本査読依頼のメールに添付済みの査読要項および査読票を保存し，査読要項をご覧いただき，査読を行う。
2. 査読後，論文原稿（PDF形式），査読票（査読結果その１，その２，その３）（WORD形式）を添付したメールを返信する。
　論文の構成など論文として大きな問題点があれば，第1回目の査読で特に指摘する。
　細かい照会，文章の表現，削除，追加，誤字，簡単な検討事項等は，以下の方法で行う。

　査読は，原則として2回以内でお願いします。なお，修正後の指摘事項に関しては，この限りではありません。

* 1. WORD形式の文書として記載でき，論文中に書き込む必要がない場合は，査読票の査読結果その３に記載する。
	2. 論文中に書き込む場合は，Adobe Acrobat等を使用し，論文原稿（PDF形式）上でノートツールを用いて注釈をつける。また，鉛筆ツールを用いて赤線を引く。（詳細はAdobe Acrobatヘルプ「注釈の追加」参照）。

　　：ノートツールアイコン　　：鉛筆ツールアイコン

〔移行措置〕

* 1. ２）が不可能な場合，論文原稿（PDF形式）をプリントアウトし，注釈，赤線を入れ，再度，PDF形式ファイルに変換する。
	2. ３）が不可能な場合，論文原稿（PDF形式）をプリントアウトし，注釈，赤線を入れ，そのまま編集事務局に郵送する。
1. 論文原稿（PDF形式），査読票（WORD形式）は，査読終了時まで保存しておく。

　なお，最終的に「掲載可」と判断されましたら，査読票の「総合判定の理由」に掲載可の理由（論文の要旨特徴等）をご記入ください。それを元に，常任編集委員会で審議して（第二段階審査後）掲載を最終決定します。

　外国出張などで指定期日までに査読できない事情等がありましたら，至急ご連絡お願い申し上げます。

敬具

（注1）日本産業技術教育学会誌の査読要領を必ずご一読ください。

（注2）主たる著者が教育現場（小・中・高校等）に在籍する場合には，そのことが分かる表記をしております。

（注3）査読票の査読者御氏名欄にご記入をお忘れなくお願いいたします。

（注4）査読票の送付は，論文投稿用メール(**toukou@jste.jp**)宛にお願いします。

\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_

一般社団法人 日本産業技術教育学会 編集事務局 編集委員長：白石正人

論文投稿・査読結果等は，メールアドレス

**toukou@jste.jp**

に必要なファイルを添付の上，送信してください。

※本学会誌に係る問い合わせ：**inquiry@jste.jp**

※本学会への登録住所・所属・メールアドレス等の変更：**jste@nacos.com**

\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町１－１

 国立大学法人 福岡教育大学　技術教育ユニット内

 一般社団法人 日本産業技術教育学会 編集事務局

 編集委員長 白石　正人（福岡教育大学 教授）

 電話 0940-35-1398 \_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_\_